

やまなし森林・林業振興ビジョンの進捗状況について

県土面積の8割近くを占める本県の森林は、県民の生活に密接に関連した貴重な資源であり、将来にわたり良好な状態に保ち、多方面にわたり有効に活用していく必要があるため、平成27年12月に「やまなし森林・林業振興ビジョン」を策定し、「材」「エネルギー」「場」の3つのキーワードごとに基本方針、施策の展開を明確にし、ビジョンが目指す将来像の実現に向けて具体的な施策を展開しているところです。

こうしたビジョンの実効性を確保するため、基本方針ごとにそれぞれ数値目標（合計10項目）を掲げ、毎年度、目標実現に向けた施策の進捗状況や効果等について点検、評価を行うこととしています。

平成28年度末時点における進捗状況は、次のとおりです。（目標年次：平成36年度）

○ 目標の進捗状況

各項目の進捗状況を関連キーワードごとに集計した結果は、下表のとおりです。

関連キーワード	数値目標（H36）	H36 目標に対する進捗	H28 年平均値に対する状況	
材	1 森林整備の実施面積（年間）	6,000ha	22%	109%
	2 木材生産量（年間）	335 千 m ³	30%	96%
	3 林内路網の整備延長（累計）	4,766km	29%	101%
	4 林業への新規就業者数（年間）	54 人	85%	85%
エネルギー	5 木質バイオマス利用施設数（累計）	33 施設	80%	124%
	6 木質バイオマスのエネルギー利用量（年間）	84 千 m ³	6%	71%
	7 ペレットストーブ導入台数（累計）	1,000 台	57%	132%
場	8 自然を目的として本県を訪れる観光客数（年間）	5,788 千人	124%	129%
	9 特用林産物生産への新たな取り組み件数（累計）	20 件	22%	100%
	10 山地災害危険地区の新規整備着手箇所数（年間）	15 箇所	100%	100%

このうち、「森林整備の実施面積」や「林内路網の整備延長」、「木質バイオマス利用施設数」など、概ね計画どおり実施することができた項目、また、一方、「木質バイオマスのエネルギー利用量」の平年よりも気温が高かった影響などから、一部の施設において稼働状況が低調であったため、低めの実績となった項目がある中、目標の10項目のうち、年平均値に対して7項目が100%を上回るなど、全体として一定の成果があったものと考えます。